

# ばぶよち ぴょん!

～子育て支援のページ～  
Vol.4



日常たりのよい研修室での遊びの様子



図書室での遊びの様子

パパやママ同士の交流の場としても活用してください!



今回は、東公民館内で開設している「子育て支援室」をピックアップ。アットホームな雰囲気、先生と遊ぶの楽しさに来てお楽しみのお子さんもお楽しみです。  
昨年度は1歳児の利用が多く、低年齢層の交流におすすめてです。

場/川角 298-1 (東公民館内) 日/主に月、水、金曜日午前10時～正午、午後1時～午後3時 対/おおむね0～3歳 料/無料 問/☎(294)1800  
※詳しくは、毛呂山町ホームページ内子育て支援のページ  
(毛呂山町 子育て支援 🔍 または右QRコード) をご覧ください。



## みんなの 声

「初めてでもとけこみやすく、行ってよかったです!」(0歳児ママ)  
「とても居心地がよくて、子どもも伸び伸び遊べ、満足しています!」(1歳児ママ)  
「先生たちが親身になってくれて、産後気持ちが不安定なときに助かりました!」(0・2歳児ママ)  
「家庭的な雰囲気、遊びに行くと、親子とも心が和みます!」(2歳児ママ)



## 毛呂山歴史散歩 第254回 新規指定文化財 きたむきじぞうそん 北向地蔵尊

左 横手ヨリ大山道

岩舟地藏尊  
念仏供養塔

右 白子ヨリ子ノ権現道

また、中央の地藏菩薩像の基部正面に、次の銘が残されています。

北向地藏尊の由来は、天明6年(1786)、当時流行した悪疫から村人を守るため、権現堂村の有志40人が、野州岩舟地藏尊(現在の栃木県栃木市)の分身3基を譲り受け、岩舟地藏尊と向き合うように北向きに安置したことから、よりよす。

権現堂地区に、「北向地藏」の名で親しまれている3基の石造地藏菩薩立像があります。鎌北湖から天覧山(飯能市)へ抜ける自然道沿いにあり、昔から多くの人たちが訪れる場所です。

子ノ権現は天龍寺(飯能市)、大山は当時の石尊大権現(現在の大山阿夫利神社/神奈川県伊勢原市)を示しており、山間の尾根道に立つ北向地藏がそれぞれの参詣道を示す道標を兼ねていたことがわかります。

権現堂からは現在も大山を望むことができ、道標に大山道の銘が刻まれている点からは、当時の人が毛呂山から大山までをそう遠くに感じていなかったことが伺えます。北向地藏尊が建てられた天明年間には、天候不順による凶作や天災が起り、食料の不足による飢饉や疫病が各地に蔓延し、人びとを苦しめました。

北向地藏尊は、天明の飢饉に関する災害や当時の交通事情、人びとの信仰の一面を知ることができる重要な資料です。村人を飢饉と疫病から救うために建立された地藏尊は、今では、行き交うハイカーたちを見守っています。



北向地藏尊